

ふれあい

2022.1
No.231

発行：ふれあい編集委員会 〒220-0011 横浜市西区高島 2-6-32 善仁会グループ TEL:045(453)6772 www.zenjinkai-group.jp/zenjinkai



安心・安全な送迎サービスを目指して



善仁会グループからの
各種情報はこちらからも
ご確認いただけます。



心のかよう医療・福祉をお客さまへ
善仁会グループ

年頭にあたって



明けましておめでとうございます。

新たな年を皆さまとともに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昭和49年に丸子クリニックから始まった善仁会グループは、本年で48年目を迎えます。新型コロナウイルス感染症により社会や環境が大きく変化する時代にあっても、私たちは、創始からの理念を貫き、患者さまお一人おひとりに思いやりの心で「心のかよう医療・福祉」の実現に努めてまいります。感染症対策により、患者さま、ご利用者さまにはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、引き続きのご理解・ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

本年の干支は、壬寅(みずのえ・とら)です。壬寅の年は、「陽気をはらみ、春の胎動を助く(厳冬ほどに春の芽吹きが生命力にあふれ、華々しく生まれる)」とされています。また、「寅」の文字は「居住まいを正すさま」を示すともいわれています。私たちは医療者としてその姿勢を改めて正し、また初心へと立ち返り、医療・福祉のプロフェッショナルとして、より皆さまの笑顔が爛漫となりますよう心がけて参ります。

安心・安全な医療・福祉をお客さまにご提供できますよう、グループ一同全力を尽くしてまいります。本年も変わらぬご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

善仁会グループ

会長 千葉 哲男



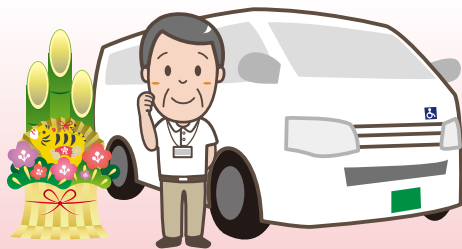
安心・安全な送迎サービスを目指して

善仁会グループの送迎サービスについて

善仁会グループでは、通院が困難な患者さまのために、ご自宅からクリニック間の送迎サービスを実施しています。本号では、安心・安全な送迎サービスのためのグループとしての取り組みについてご紹介いたします。



腎管理センター
送迎サービス課
課長
青柳 康一



善仁会グループの送迎サービスは、歩行通院が困難になられた際に周囲からの援助や公的な支援を受けることが難しい透析患者さまの通院をサポートするため、1998年にひとつのクリニックの小さな取り組みとしてスタートいたしました。その後、徐々に送迎サービスを導入するクリニックを増やしてまいりましたが、当初はいずれもケアドライバー1名、

ワゴン車1台に、対象の患者さまも4~5名からと比較的小規模なサービスでした。

しかし、2000年代に入り、患者さまの高齢化が急速に進むなかで送迎サービスへのニーズは急激に拡大し、通院中の患者さまのご要望はもちろんのこと、新規の患者さまにおかれましては、もはや送迎があるのは当たり前という状況にまで進んでまいりました。



善仁会グループではこうした変化に速やかに対応し、歩行通院が困難になられた患者さまの支援を強力に推進するため「送迎は透析治療に欠かせないサービス」との思いを持って送迎サービスを発展的に充実させてまいりました。現在ではすべてのクリニックと1つの病院で送迎サービスを展開するまでに広



運行前の車両点検を徹底しています



持ち物も毎日チェックしています



研修の様子



透析治療の基本についても習得します

がり、車両数は330台余り、ケアドライバー約450名で、何よりも安全を第一に日々途切れることなく運行を続けております。

スタッフとして患者さまに1日の始めと終わりの場面で接するケアドライバーは、入社時に適性検査や接遇研修を受けた善仁会グループの職員です。患者さまに気持ちよく安心してご乗車いただけるよう、常に安全で快適な送迎サービスのご提供に努めております。

また、善仁会グループの送迎サービスは単にケアドライバーだけで行うものではなく、それぞれの施設の透析室スタッフとも協力し、情報共有を密にして、施設が一体となり患者さまの安全面に最大限配慮した運行を心がけ

ております。さらにハード面では現在いずれの施設も福祉車両の導入を強化し、車椅子の患者さまや車への乗り降りが困難になられた患者さまにも安心してご利用いただける装備をますます充実させてまいります。

送迎サービスは施設の患者さま共有のサービスのため、やむを得ず順番や時間の変更などご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。これからも皆さまに安心してご利用いただけるよう感染症対策に努め、安全な運行を推進してまいります。





ケアドライバー向け研修を通して



腎管理センター 送迎サービス課
参事 出口 努

善仁会グループでは、安心・安全な送迎サービスを患者さまにお届けできるよう2021年4月に新たに送迎サービス課を設置いたしました。送迎サービス課は各施設の事務長ならびにケアドライバーと共に、安全の推進とサービスの向上のために活動しています。

現在、クリニックでは、患者さまの状況に合わせたきめ細かなサービスをご提供するため、車いす対応車などの福祉車両を中心に、年々送迎車の台数を増やしております。その一方で、患者さまが送迎車にお乗りになる際に患者さまへのご対応に問題がないか、事故などが発生していないかを常にチェックする必要があります。そのような課題に対して善仁会グループでは、入職時に新入社員全員に向けたオリエンテーションに加

え、教育研修センターではケアドライバー向け研修を毎月実施しております。新しいスタッフが施設で勤務するにあたり、法人理念や接遇についてはもちろんのこと、透析治療の基本から送迎車運転時の注意点まで、幅広く知識習得の場を設けております。送迎車の事故については残念ながらゼロではありませんが、これまで発生した事例は、すこし注意をすれば防げたものがほとんどです。軽微な事故も未然に防ぐよう、施設への訪問活動を継続し、事故ゼロを目指して注意喚起してまいります。

今後ともより質の高い送迎サービスを提供できるよう、努めてまいります。



日々の変化に対応するために



二俣川第一クリニック／二俣川南口腎クリニック 事務部
事務長 西山 雅樹

当施設では、送迎サービスご利用の患者さまに安心してご通院いただくため、「患者さまの様子に通常と異なることがないか、注意を払うこと」「異常が感じられたときは速やかに職員間で共有すること」の2点を常に徹底しています。

ケアドライバーはご自宅から施設までの間、患者さまのクリニック以外での様子を唯一知ることのできる職種です。送迎サービスに従事して感じるのは、患者さまのご様子がいつも同じではないということ。ADL(日常生活動作)の低下によりふらつきがある、乗車する際にステップに足がうまくのせられないなどの、些細なことではあっても、患者さまの小さな変化への気づきが、転倒などの事故の防止に繋がる

ことを、ケアドライバーの一人ひとりが意識を持って業務に取り組むことを徹底しています。

また、施設では送迎サービス中に気付いた情報を施設内のスタッフに速やかに共有するため、週に1回、約1時間の定期ミーティングを行っております。ミーティングでは、送迎場所や送迎方法の変更を検討したり、患者さまのご体調の変化などによるリスクを回避するために、医師、看護師、臨床工学技士など多職種と協力しながら早期対応できるように心がけております。

今後も安心・安全な送迎サービスを目指して、施設全体で取り組んでまいります。



優しく、穏やかに、楽しい雰囲気です



新宿西口腎クリニック 事務部
ケアドライバー 佐藤 雅巳

私が送迎サービスで日頃から心がけていることは、患者さまに、優しく、穏やかに、楽しい雰囲気です、丁寧に接することです。コロナ禍においては、乗車の際の検温、手指のアルコール消毒、マスク装着の確認、会話自粛のお願い、降車後のドアレバー、窓開閉時の手元スイッチ、座席シートの消毒など送迎車で患者さまが安心してお過ごしいただけるよう気を配るようにしております。

新宿西口腎クリニックは、青梅街道や山手通りが主な送迎ルートですが、最近ではコロナ禍における巣ごもり需要の影響からか宅配の自転車やオートバイの数が増加し、これまで以上に運転に気を使う場面が多くなりました。

そのような状況においては、毎月行われているドライバー研修で学んだ中高年ドライバーが特に気をつけなければならないことや危険予知訓練の内容を実践できるよう努めております。

また、安全運転を実践するために、休日にはジョギングやウォーキングをして自身の健康管理に気をつけるようにしています。患者さまに送迎の間は少しでも心の癒しになるような時間をご提供できますよう日々努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。



心配りとお声がけを大切に



福生駅前クリニック 看護部
看護助手 石丸 淳子

当クリニックでは、経験年数10年を超えるベテランを筆頭に現在10名のケアドライバーが、常に患者さまの安全を第一に考え、ご自宅からクリニック間の送迎を行っております。

「おはようございます!」「お変わりございませんか?」ケアドライバーは、ご自宅にお迎えに伺った際には、このように患者さまへお声がけをしています。そうして、その日の患者さまのご様子を拝見し、患者さまのご体調の悪い時には、すぐにケアドライバーから看護師に連絡が入ります。私たち看護助手はケアドライバーと連携し、車いすをクリニック入口に準備し、患者さまをお迎えした上で、透析室にご案内し、透析室のスタッフへとバトンタッチします。

また、当クリニックでは、介護老人保健施設ユニービラから通院されている患者さまも多く、送迎車で来院された方の車いすが、通常15台程並びます。そこで、私たち看護助手は、スムーズにその日の透析がスタートできるよう、ベッドへの移動、介助などを行っています。

患者さまお一人おひとりへの心配りを忘れず、お声がけを大切に、ケアドライバー、そして施設スタッフ全員が心をひとつに患者さまへきめ細やかなサービスのご提供ができますよう情報共有に努めています。より安心・安全な送迎サービスのご提供ができますよう、これからも心がけてまいります。



一日一日を積み重ねて



かみみぞ腎クリニック 事務部
ケアドライバー 桑原 昭

はじめまして。かみみぞ腎クリニックのケアドライバーの桑原と申します。

当施設は、2021年2月1日に開院し、当初は患者さま30名ほどでスタートいたしました。12月にはすでに70名を超える人数の患者さまが通院していらっしゃいます。

今回、まず改めて自分の運転方法や送迎について考えてみると、そんなに特別なことはしていないように思います。いつも気をつけていることは、「スピードは控えめに運転する」、「一時停止を遵守する」、「狭い道では極力ゆっくり走行する」などの誰もが当たり前に行っている運転の基本事項です。逆に言えば安心・安全な送迎サービスというのは当た

り前のことを当たり前に行い、それを毎日積み重ねていくことでしか成り立たないのではないのでしょうか。

毎日同じことを集中して行っていくこと。それを1日、1週間、1年と続けていくこと。そのなかで安心・安全は生まれてくるのだと思います。事故を起こさないために、皆が当たり前に行き安全に運転をする、「継続は力なり」という言葉のように、ケアドライバー一同で事故のない、より良い送迎サービスのために日々安全運転を心がけてまいります。



日頃から心がけていること



白楽腎クリニック 事務部
事務 笹間 順子

白楽腎クリニックでは9割ほどの患者さまが送迎サービスを利用されています。毎日の送迎スケジュールは施設のケアドライバーが立てていますが、状況によりスケジュール通りにいかないことも多くあります。そうした際に送迎中のケアドライバーにすぐに情報伝達ができない状況になることもありますが、送迎から戻ったドライバーに状況報告し、すぐにスケジュールを再調整し、患者さまをお待たせすることなく送迎できるような体制を整えています。スケジュール通りにいかない状況においても、スタッフ同士が状況に合わせて互いに声を掛け合い、患者さまへ思いやりの

心で、安心・安全な送迎サービスを行っております。お気づきのことなどございましたら、どうぞお気軽にお申し付けください。



謹賀  新年





第43回 善仁会研究報告会

「第43回 善仁会研究報告会」を、11月21日(日)、そごう横浜・新都市ホールにて開催いたしました。例年、会場には700名超の聴講者が集いますが、社会情勢を鑑み、昨年同様にオンライン会議ツールである「ZOOM」を利用し、会場からオンライン配信いたしました。

昭和大学藤が丘病院 腎臓内科 小岩文彦教授による特別講演(演題：慢性腎臓病におけるリン管理のポイント)をはじめ、善仁会グループの腎部門・健診部門・老人医療福祉部門のスタッフから、合

計22演題が発表されました。今年は、新たな取り組みとして一般演題だけでなく、2つのワークショップを開催。それぞれのワークショップの発表者と座長との総合討論を行い、各施設、各職種の取り組みについても活発に意見交換がされていました。

研究報告会は、グループ全体の各部門、職種を横断して、それぞれの日頃の研究成果を発表することで、各施設・各職種の課題などについて知識を深めることができる貴重な機会です。特別講演にて、新たに知見を深め、またグループ内各部門のさまざまな職種が情報共有を行い、グループ全体の医療の質を高めるために、非常に有意義な会となりました。



特別講演
昭和大学藤が丘病院 腎臓内科
小岩文彦教授



大会長 有村 義宏
(吉祥寺あさひ病院 院長)



ワークショップ総合討論の様子。「ZOOM」を利用し、会場からオンライン配信を行いました。

「お写真」 「透析川柳」 募集!

「ふれあい」では皆さまからのお写真のご投稿、またサラリーマン川柳ならぬ「透析川柳」のご投稿をお待ちしています。ふるってご応募ください!

- 投稿送付先：〒220-0011 横浜市西区高島2-6-32 6階 善仁会グループ本部 広報室あて
- ※または各施設スタッフに「ふれあい投稿」としてお渡しください
- ※ご投稿いただいた作品は返却いたしません。ご了承ください



駅降りて 思わずすくむ 薄羽織り (豊見山)

横浜第一病院バスキュラーアクセスセンター

バスキュラーアクセスに専門的かつ総合的に対応するセンターとして、充実した医療技術・設備のもと、迅速な診断、長期に安定したバスキュラーアクセスの作製、維持に取り組んでいます。



診療時間 9:00~15:30

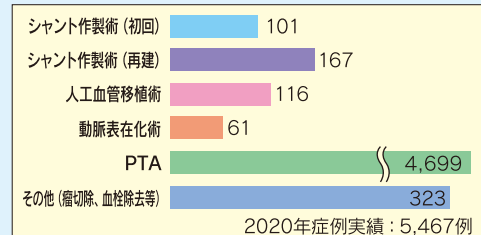
休診日 日曜・年末年始

予約制 バスキュラーアクセス外来の診療は予約制となっております。ご来院前にお電話でお問い合わせください。(緊急を要する場合は別途ご相談ください。)

センター長 笹川 成



● 横浜第一病院バスキュラーアクセス関連手術実績



☎ 045-453-6709 FAX 045-453-6701

東京・吉祥寺あさひ病院でのバスキュラーアクセスのご相談については、
【☎0422-22-1120 / FAX 0422-22-1080】にて承っております。